

前川氏授業への文科省圧力の背景に

自民議員の執拗な要請

政治介入そのもの

(東京選挙区選出)

共産党・吉良よし子^{参院議員}追及

日本共産党の吉良よし子議員は3月23日の参院文教科学委員会で、前川喜平前文部科学次官の授業をめぐり、自民党議員の働きかけを受けた文科省が同市教育委員会への執拗(しつよう)な調査をした問題を追及しました。

文科省は、今回の「調査」で、名古屋市教委と市立中学校に対し、2通もメールを送りつけ、執拗に、前川氏を公開授業に招いた経緯、その判断の是非を問うとともに、講演の謝礼金の額や、動員の有無、講演の録音テープの提出も求めています。これは明らかな教育内容に対する国の介入です。またこの調査の発端は、自民党議員からの「問い合わせ」だったことが、報道により明らかになり、文科省もそれを認めました。それなのに、文科省はいまだに「政治家からの圧力はない。文科省の主体的判断による調査」だと開き直り、「法的には問題ない」と言い張っています。吉良氏はこうした文科省の姿勢を厳しく追及しました。

文科省は問題のメールを送る前に、まず電話で事実確認を行い、その結果を、問い合わせをした自民党議員に報告していますが、吉良氏の質

問で、その際に自民党議員から文科省に対し「さらにわかったことがあれば教えてほしい」との発言があったことがわかりました。(左の表をご覧ください)。吉良氏はこうしたやりとりの後、問題のメールが市教委に送られていること、そのメールを送る前に文科省がその内容を自民党議員に見せ、質問内容を修正している事実を示し、「これこそ政治介入そのもの。文科省が主体的に政治家のいいなりになっている」と批判しました。

今年2～3月の文科省と自民議員、名古屋市教育委員会とのやりとりの経過

- | | |
|--|--|
| 2/16 前川氏が授業 | 3/1 文科省が自民・池田氏に質問状を見せ、自民・池田氏は2点コメント。その上で質問メールを市教育委員会に送る。 |
| 2/17 中日新聞が報道。自民議員(赤池氏)が文科省に事実確認依頼 | 3/5 市教育委員会が文科省に回答 |
| 2/19 自民議員(池田氏)が文科省に記事渡す。文科省が市教育委員会に電話で事実確認 | 3/6 文科省、再び市教育委員会に質問 |
| 2/20 文科省が自民・赤池氏に状況説明 | 3/7 市教育委員会が再回答。文科省が自民・池田氏に説明 |
| 2/22 文科省が自民・池田氏に説明。池田氏「さらにわかったことがあれば教えて」 | |

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年3・4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党